

市立室蘭総合病院医誌投稿規定

I 種類：学術論文の欄と各種記事の欄を設ける。

- A. 学術論文の欄は邦文または英文の総説、原著、症例報告とする。
- B. 各種記事の欄は病理解剖症例概要、研究会・研修会記録、業務活動報告、年間業績集、その他とする。

II 制限：

- A. 論文はすべて未発表のものに限る。
- B. 総説は特に編集部より依頼したものその他、関係各位の寄稿も受け付ける。
- C. 枚数：図、写真、表を含めて一応の基準を次の通りとする。
 - 1. 邦文：原稿はワードプロセッサを用い、横書きでA4判の用紙に行間を充分にとって印字する。400字詰め原稿用紙に換算して原著30枚以内、症例報告20枚以内、院内研究会記録2枚以内、各種業務活動報告5枚以内。
 - 2. 欧文：A4判用紙に上下、左右に十分な余白をとってダブルスペース28行以内で原著30枚、症例報告10枚以内。

III 体裁：

- A.
 - 1. 論文には表紙を付け、表題を記載し、著者・共著者の氏名および、所属を記載する。
 - 2. 「要旨」と「キーワード」を2枚目に記載する。要旨の字数は約600字以内とし、キーワードは5個以内とする。
 - 3. 論文の体裁は、原則として「緒言」、「対象・方法」、「結果」、「考察」、「結語」、「文献」、「図」、「表」、「図表の説明」とし、表紙から通し頁番号をふる。
 - 4. 述語は日本医学用語整理委員会選定の医学用語を、数字は算用数字を用い、単位は次に準ずる。m, cm, mm, μ , cm^2 , cm^3 , L, dL, mL, kg, g, mg, μg , γ
 - 5. 文献、外国人名、地名、薬品名は必ず原語を用い、外国語は明瞭なフォントを用いること。
 - 6. 図表の原稿は黒インクを使用し明瞭なプリンター印刷とする。原稿には表題を付け、一連番号（図○、表○など）を付ける。サイズは15×20cm～20×30cm程度とする。また、複数の写真を含む図（組み写真）はa, b, c……で表記する。（図○a、図○bなど）
 - 7. 図、表など挿入箇所は本文原稿の欄外に図○、表○を朱書する。
 - 8. 図表、写真は一つが400字詰め原稿用紙1枚とみなす。
 - 9. 原稿提出時には、内容の全てを電子媒体に保存して添付する。
- B. 引用文献の書き方は次の形式とする。
 - 1. 本文に肩付けした引用番号で示し、記載順序は引用順とし、1,2,3)の書式とする。また著者名が複数の場合には、省略せず全員を記載する。
 - 2. 雑誌の場合
著者名：題名. 雑誌名 巻：頁-頁, 発行年

(西暦).

外国誌はIndex medicus、邦文誌は医学中央雑誌による略名を使用する。

3. 単行本の場合

著者名：題名. 編者名. 書名. 版数. 頁-頁, 発行所, 発行地, 発行年 (西暦).

例：

- 1) 池田理恵, 鳥井孝明, 福岡将匡, 曳田信一, 安達健生, 小林博昭, 東海林哲郎, 高木伸之, 木村希望：心陰影異常を契機に発見された巨大冠動脈瘤を伴う冠動脈肺動脈瘻の一例. 室蘭病医誌 27: 27-30, 2002.
- 2) Pereira-Lima JC, Busnello JV, Saul C, Toneloto EB, Lopes CV, Rynkowski CB, Blaya C: High power setting argon plasma coagulation for the eradication of Barrett's esophagus. Am J Gastroenterol 95: 1661-1668, 2000.
- 3) 澤田典均：遺伝子の大腸癌とがん化への多段階変化. 森 道夫編. 病気と分子細胞生物学. p.110-122, メディカルサイエンスインターナショナル, 東京, 2002.
- 4) Falk JL, Rackow EC, Weil MH: Colloid and crystalloid fluid resuscitation. In: Shoemaker WC, Ayres SA, Grenvik A. eds. Textbook of Critical Care. 2nd ed. p.1055-1073, Saunders, Philadelphia, 1989.
- 5) Curhan GC: Kidney stones in adults: Epidemiology and risk factors. UpToDate. Available from <https://www.uptodate.com/contents/kidney-stones-in-adults-epidemiology-and-risk-factors>.
- 4. 参考文献は必要最小限にすること。

IV その他

- A. 論文の採否は編集委員会が決定する。
- B. 論文の校正は著者校正を原則とする。
- C. 一論文に対し、別刷30部無料配布し、他は有料とする。
- D. 論文等の著作権（著作権法27条 翻訳権、翻案権等、28条 二次的著作物の利用に関する原著者の権利）は、当院に帰属させていただきます。
- E. 当院は、当該論文等の全部または一部を、当院ホームページ、当院が認めたネットワーク媒体、その他の媒体において任意の言語で掲載、出版（電子出版を含む）出来るものとします。この場合、必要により当該論文の抄録等を作成して付すことがあります。
- F. 投稿、編集などに関する問い合わせは下記に願います。

市立室蘭総合病院 医局図書室内
市立室蘭総合病院医誌編集室
TEL.0143-25-3111 (2270)